

青海地域の路線バス再編への取り組み状況

《状況》

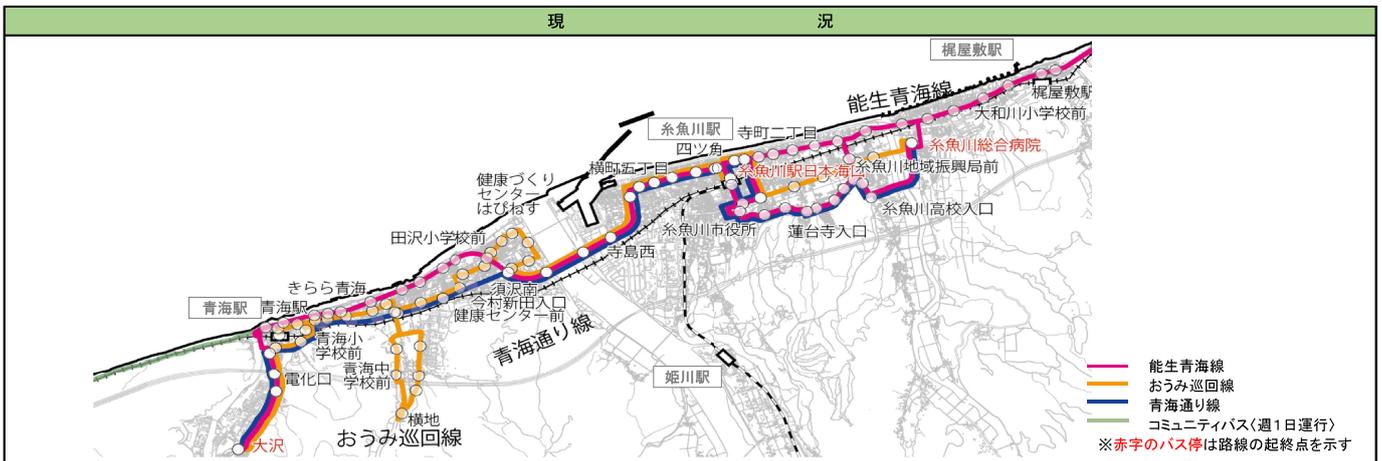
R2 春のダイヤ改正時に青海地域の路線バス再編するため、現在具体的な再編案の作成、チェックの作業を実施中。

《経過および予定》

時期	内容
R元. 5月	青海地域地区公民館長・支館長会議にて、概要説明
7～8月	路線バス再編に関わる11地区へ訪問 個別説明 （一部地区にて高齢者等からご意見聴取） 13回開催 参加105人
9～10月	路線バス再編案（ダイヤ、経路）の作成、チェック
- - 今後の予定 - -	
10～12月	各地区へ再編案を提示、意見交換 →意見整理後、再編案の修正
R2. 1月	協議会にて再編修正案を協議 →再編案の確定
2月	各地区へ再編確定案を報告
春	ダイヤ改正 →青海地域 再編内容での運行

《ご意見 要約》

- ・国道、県道、青海通りの3本それぞれの道路を運行するバス系統があり、身近なバス停での乗降を希望している。
- ・地区により買い物先も様々だが、横町五丁目での買い物や通院、糸魚川総合病院への通院については、目的地として共通していた。



【現状と課題】

- 28年度概算収支率
 - ・能生青海線が58%、おうみ巡回線が37%、青海通り線が52%である。
- 28年度乗降量調査結果
 - ・能生青海線は、平日平均の最大値で18.7人で、朝の高校生の通学利用が多く、18:00過ぎの2便は1.0人を下回る。
 - ・おうみ巡回線は、平日平均の最大値が16.0人を筆頭に、15.8人、11.4人といずれも生活時間帯でコンスタントに利用が多い。
 - ・青海通り線は、平日平均の最大値で15.6人で、朝夕各1便で高校生の通学利用が多い。
- 運行ルート
 - ・3路線が似た経路を運行しているため競合関係にあり、運行系統も多くなりづらい。

【地区からの意見（抜粋）】

- ・糸魚川高校、糸魚川白嶺高校に通う約150人をターゲットとした通学路線とダイヤを確保してほしい。
- ・利用が多い時間に絞ってよいので、（おうみ巡回線のように）各地区を回るバスを増やしてほしい。
- ・青海地域で並行する国道・県道・（市道）青海通りの中で「究極の選択」が必要となれば、真ん中の県道を路線として選ばざるをえないだろう。
- ・今の経路では、買い物ができる所が少ない。

【協議会での意見】

- ・須沢地区は人口がかなり増えているので、おうみ巡回線と同じように他路線も須沢地区を経由してはどうか。
- ・青海以西（歌外波・市振地区）の観光の足として、コミュニティバスの確保やえちごトキめき鉄道のダイヤに応じたバスダイヤ編成を検討してほしい。

◆ 運行便数（平成28年3月26日改正）

能生青海線	※青海地域運行便数		
	平日	土曜日	日祝日
～8:30	6	13	5
8:30～13:00	9	2	9
13:00～15:30	9	7	5
15:30～			
計	24	22	19

◆ 参考：運行便数（平成29年4月1日改正）

能生青海線	※青海地域運行便数		
	平日	土曜日	日祝日
～8:30	6	11	5
8:30～13:00	7	2	7
13:00～15:30	8	6	5
15:30～			
計	21	19	17

おうみ巡回線

	平日	土曜日	日祝日
～8:30	1	4	
8:30～13:00	3		
13:00～15:30	1	1	
15:30～			
計	5	5	0

青海通り線

	平日	土曜日	日祝日
～8:30	1	2	
8:30～13:00	4	3	
13:00～15:30	3	3	
15:30～			
計	8	8	0

青海通り線

	平日	土曜日	日祝日
～8:30	1	2	
8:30～13:00	4	3	
13:00～15:30	4	4	
15:30～			
計	9	9	0

